

# 令和4年度学校評価

1 教育目標 自ら考え協働する、心豊かで粘り強い子供の育成	
2 学校経営方針 自ら考え、自己決定することを重視し、心豊かに関わり合うことや継続することの大切さを実感させる教育の実践	
3 重点目標	【今年のテーマ】『聞くこと』『そろえること』『言葉を大切にすること』
<input type="checkbox"/> 目指す学校像 <input type="checkbox"/> 支持的風土のある、安心安全で美しい学校 <input type="checkbox"/> 地域を愛し、地域から愛される、地域と共に子供を育てる学校 <input type="checkbox"/> 歌声があふれる学校  <input type="checkbox"/> 目指す子ども像 <input type="checkbox"/> よく遊ぶ子供 <input type="checkbox"/> よく働く子供 <input type="checkbox"/> よく学ぶ子供  <input type="checkbox"/> 目指す教職員像 <input type="checkbox"/> 子供と共に動き信頼される教職員 <input type="checkbox"/> 子供の心に寄り添って対応する教職員 <input type="checkbox"/> 保護者・地域に積極的にかかわる教職員	<p>つなげる力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニケーション力の育成</li> <li>○言葉・歌を大切にできる学校文化（挨拶・返事・言葉遣い・全校合唱）</li> <li>○自己有用感に裏打ちされた自己肯定感</li> <li>○職員一丸となった働き方改革（道徳科・総合・特活(行事)・各教科カリキュラムマネジメント、ICTの活用、日課の見直し、業務の効率化縮減等）</li> <li>○特別支援教育・人権教育・積極的生徒指導</li> <li>○健康安全体力づくり（保健指導、体力向上を目指した行事や活動）</li> <li>○学校支援組織との連携(育友会・自治会・民生児童委員・交通指導員等)</li> </ul> <p>考える力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○問題解決的な学習過程（こさかき…心にえがく 探し・究める 考え判断する極めて活用）</li> <li>○読書活動の充実（量・質）</li> <li>○言語活動の充実（相手意識・必然性・適時性）</li> <li>○ICT機器の利用（クロームブックの活用力向上）</li> </ul>

領域	項目	質問内容	アンケート結果R4 (肯定的割合・%)			分析及び改善策
			児童生徒	保護者	教職員	
			学校経営	教育目標	教育目標を達成している	
学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	89	98	96		
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	90	90	79	心の教育について、保護者の評価は昨年度より向上しています。人権や平和への取組は、今後も学校ホームページや各種便りでごまめに知らせをしていきます。悩みを抱える児童や保護者には、積極的にスクールカウンセラーとつなぎ教育相談を実施し、成果を上げているところです。ご相談がある場合は、お気軽に学校へ連絡してください。 生活指導について、トイレの使い方、校外での挨拶や公園の使い方が課題となっています。公園のごみについては、今年度数回にわたり地域や保護者から連絡があり、児童への指導や呼びかけをしてきました。6年生が1年生と共に近くの公園で交流遊びをした際には、ごみ拾いをし意識を高める活動も行っています。今後も積極的に指導をし、改善を促していきます。 長崎市が推進している「あ・は・は運動」につて保護者への周知がもう少しでした。パンフレットの配布や各種便り、懇談会等で周知を図っていきます。
		挨拶をよくしている	84	61	51	
		「あ・は・は運動」を知っている（小学校のみ）	86	70	97	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	90	87	100	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	94	84	94	
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	96	94	91	
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	99	94	94	
特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	95	87	100		
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	94	92	94	今年度、FGS（フロンティアギガスクール）研究発表会を実施しました。この研究により児童や教職員のICT活用力は高まり、参観者からも高い評価をいただきました。来年度も引き続き研究を推進していきます。 ふるさと教育について、1・2年の町探検、3年の市内見学、4年の水道・ごみ処理施設見学、5年の被爆遺構見学、6年の総合学習SDG'sの取組などで、ふるさとを愛する心情を育んできました。今後も大切な活動として実施し、ふるさとを愛する心情を高めていきます。
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	94	91	100	
		家庭学習の習慣が身に付いている	87	77	100	
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	86	78	91	
長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである		89				

健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	90	94	97	運動会は新型コロナウイルス感染対策を十分に行い実施しました。縄跳び大会は学年実施となりましたが、朝マラソンは、ペア学年で継続的に実施し、児童の体力向上を図ることができました。昨年度より児童の体力向上への取組を充実させることができました。 来年度は、基本的にマスクを着用しないことを基本とすることになります。(着用は個人の判断)しかし、新型コロナウイルスの感染状況によっては、着用の場面があることが予想されます。御協力よろしくお願いします。
	体力向上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的な生活習慣)が身に付いている	76	82	100	
		体力向上に努めている	83	79	94	
	食育	食に関する教育活動を行っている	94	93	100	
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	85	92	100	日頃より保護者や地域の皆様に御理解や御協力をいただきながら教育活動を行ってきました。今後も学校の情報については積極的に発信していきます。緊急時には安心安全メールを活用していますが、欠席連絡等もICT機器を利用し効率化できないか考えています。条件整備をし、より良い形で実施を目指しています。 児童の「学校のPTAや地域との連携について」の項目については、「地域の行事に参加しているか」という設問にしたため、低くなっています。コロナ禍による地域行事の中止の影響も考えられます。地域の行事へは、児童も教師も積極的に参加するよう呼び掛けていきます。
	情報提供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	91	85	100	
	PTA・地域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	61	94	100	
	教環境整備	教育環境が充実し、整備されている	93	94	97	

## 5 自己評価

<p><b>【成果】</b> 保護者から学校経営、心の教育、確かな学力の面でおおむね昨年度よりよい評価をいただいた。他の項目もほぼ昨年度と同程度の評価だった。日頃の職員の連携・協力の良さ、保護者への丁寧な対応の結果と考えている。児童の満足度も高いのは、大変喜ばしいことである。更に高めるように努力していきたい。 特別支援教育コーディネーターを中心に教育相談、SCの活用を推進してきた。保護者の悩みや児童の困り感の解消を図り、それぞれの児童の実態に応じた指導や声掛けができた。担任にとっても、児童・保護者の対応について、安心して相談できた。 安全管理については、日頃の交通安全指導や育友会、交通安全指導員、地域の方等の協力を得て大きな事故もなく過ごすことができたのは大きな成果である。次年度以降も地域の方々に御協力を頂きながら『交通安全教室』を実施する。</p> <p><b>【課題・対策】</b> 生活指導については、挨拶や公共物の使用、公園でのマナーについて、課題があることを保護者や地域と共通理解し、足並みをそろえて児童への指導を行っていくのが効果的であると考えている。育友会、育成協、自治会等とも連携をとっていきたい。 生活指導やいじめ防止や人権教育については、タブレットPCが子供たちに配布されたことでまた新たな課題が出てきている。情報モラル教育の充実を図りながら、課題解決に取り組む。人権教育については、保護者の理解を高めるために、今年度も道徳科の授業を保護者や地域の方々に公開するなどして、理解を図っていく。また、学校や学級便り、ホームページ、安心メールなどによる学校からの積極的な情報発信を今後も継続し、情報を素早く共有することで、保護者・地域の方々の理解・協力を得ていきたい。</p>
--

## 6 学校関係者評価

<p>学校評議員の方々に体育館で、6年生とのお別れ集会を見ていただきました。「下級生が6年生に感謝の言葉を送る姿に感動した。感染症対策のため2部構成の入れ替わり方式での集会は大変だったと思う。学校が一丸となって対策を工夫していることが伝わった。」という声が聞かれました。その後、全学年の教室での授業を参観していただきました。「1年生のクロームブックの使用場面を見て感動した。タブレットPCの活用がさらに活発になったようだ。子供たちや先生方のスキルもさらに向上しているように感じた。」という評価の声も聞かれました。 公園の使い方のマナー向上については、学校と地域が連携して指導にあたっていくことや児童への指導の仕方について助言をいただきました。 挨拶については、校区内が一小一中である良さを生かし、地域ぐるみで推進できるよう助言をいただきました。</p>
--

## 7 学校関係者評価を受けて

実際に集会を見ていただき、本校の教育活動の良さを感じていただけたと思う。学校の明るい雰囲気や教職員の連携、協力体制の良さをほめていただいたのは嬉しいことである。学校だけの頑張りではなかなか教育効果は上がらない。新型コロナウイルス感染対策の緩和も鑑み、これからはもっと学校行事を地域へ開示し、地域の方にも学校へ足を運んでもらい、教育活動の実際を直接知ってもらいたい。全体的に良い評価をいただいているが、課題も散見される。児童の安心・安全につながる活動を基盤としつつ育友会や地域の方々の協力を得ながらさらに児童・保護者・地域から愛される学校を作っていきたい。